

平成29年2月2日

東京都福生市長

加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査員 田中 俊嗣  
副代表監査員 石毛 和夫  
鈴木 啓治  
小澤 はる奈

## 環境監査報告書

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成28年度監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 日時

平成29年1月31日（火）～2月2日（木）

### 2. 監査対象

本庁舎	10	実行部門
市民利用施設	4	実行部門
供給処理施設	0	実行部門
教育施設	3	実行部門
指定管理施設	1	実行部門
計	18	実行部門および推進委員会

※監査対象の内3実行部門は平成29年1月12日実施済み。

### 3. 監査結果集計

	項目	視点	高評価	改善要望
1	環境配慮行動の工夫	目視確認により適正な実施状況を確認。		1
2	実行責任者の役割	数値目標に対する認識、市民との協働に向けた意識、職場の特性に応じた環境配慮行動の指導への意識、F・eに関する情報・研修内容との周知への工夫などがあるか。		
3	再エネ・省エネ設備の導入	省エネ型設備、新エネルギー設備について積極的に検討されたか。		
4	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか。市民活動の発展への意識を持っているか。	5	
5	数値目標の管理	予定している事業などとの関連や、近年の傾向を踏まえて目標値を検討したか。		
6	数値目標の管理	目標値と実績値を意識しているか。未達成の場合、原因の追究と対応策の検討がなされているか。		
7	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか。学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか。	1	
8	前回監査結果のレビュー	監査報告書を読み、水平展開の可能性を検討したか。		
9	環境配慮行動の工夫	ハンドブックにない独自の工夫、家庭や地域への積極的な働きかけがあるか。	1	
10	環境配慮行動の工夫(省エネ)	(待機電力カットについての認識を持っていただく)	1	
11	施設利用者等への呼びかけ	事業者や施設利用者も活動の中で環境配慮が定着するように促しているか。		
12	数値目標の管理	環境負荷データ、結果の分析を職場内で共有し、職員個人の役割を自覚しているか。		
13	目標の認識	第3次福生市地球温暖化対策実行計画について認識していただく。		
14	その他		1	
15	推進組織の役割・責任	第3次福生市地球温暖化対策実行計画のポイントを認識し、今後の方向性を持っているか。		
16	推進組織の役割・責任	F・eの狙いを理解し、推進委員会の活性化について問題意識や方向性を持っているか。		
17	環境マネジメントの評価・展望	(市長) 第3次福生市地球温暖化対策実行計画のポイントを認識し、今後の方向性を持っているか。		
18	環境マネジメントの評価・展望	(市長) 市の環境政策について、どのような展望を持っているか。		
19	推進組織の役割・責任	(副市長) ハード対策の重要性を認識し、補助金の積極的な活用や予算面での配慮など、ハード対策推進のための方針を持っているか。		
20	推進組織の役割・責任	(教育長) 学校や社会教育施設が市民への波及の拠点になることを意識し、地域住民や利用者を巻き込むための方針を持っているか。		
	システム全体	(事務局)	1	
合計			10	1

## 4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の平成28年度取り組み状況監査を実施しました。その結果と所見は以下のとおりです。

### （1）監査結果

設問ごとの評価で「特に高く評価したい点」として抽出された取り組みは9件（事務局を含めると10件）、「改善をお願いしたい点」として指摘した事項は1件でした。

「特に高く評価したい点」の中で多かったのは、市民の参加・協働の促進に関する取り組みです。子どもを軸に親や地域住民へも環境保全への理解や行動が波及している取り組みや、事業者の協力をうまく引き出している取り組みなどがあり、協働の相手や活動範囲が広がっていることが見て取れました。単に市民や事業者に参加してもらうだけでなく、適切な役割分担の下で質の高い協働事業が実施されつつあるようです。F-eの狙いの一つである「市民への環境配慮行動の波及」が一部で具体的な形として実現している様子が見え、今後の展開に期待が持てる結果となりました。

また、省エネルギーのための取り組みとして独自の工夫を実践している部署が複数ありました。少しのアイデアや職員の特技を活かし、無理なく継続できる新たな手法が生み出されていることに感銘を受けました。

「改善をお願いしたい点」は、職場で紙類の分別が不十分であったことです。

今年度は、「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」の周知の確認を重点的に監査の中で行いました。職員の環境配慮行動のレベルを維持することと合わせてハード対策を推進することが目標達成のためには重要であることが、ほとんどの部署でよく認識されているようです。この認識の高まりを、具体的な行動に繋げることが肝要です。各職場にあるエネルギー使用機器の見直しや運用管理はすぐにでも着手できます。更新した方が経費面でもメリットのある機器はないか、運用方法を改善できる設備はないかなど、各職場で調査する機会を設けてはいかがでしょうか。各職場からの情報を集約しておくことで、市長も強調していた補助金等の活用にも有用と考えられます。

### （2）今後に向けて

#### ○監査報告書（水平展開のアイデア）の活用

複数の部署で、昨年度の監査報告書に「水平展開したい取り組み」として挙げた優良事例を真似て取り入れたという声が聞かれました。監査報告書を活用して取り組みのレベルアップが図られていることは、監査チームとしては大変喜ばしいことです。今年度の監査報告書にも水平展開のアイデアを掲載しますが、重要なのは優れた取り組みの目的を踏まえて導入することです。そのアイデアがなぜ実践されているのか、なぜ有効なのかを理解すれば、自分の職場にふさわしいアレンジ方法が見つかるはずで、監査報告書に掲載された事例の応用について、各部署で検討をお願いします。

#### ○事故の予防保全

近年複数の施設で漏水が発生しており、その原因は施設の老朽化とされています。市内の公共施設の多くが老朽化しており、どの施設でも漏水や機器トラブル等の事故が発生する可能性があります。F-eの環境負荷調査が異常の早期発見にも繋がり得るので、危機感を持ってデータをチェックする意識を持っていただきたいと思います。さらに、専門家による点検など予算措置を伴う予防保全の実施についても検討をお願いします。

#### ○引継ぎの工夫

今回は職員の環境配慮行動に改善事項がありました。学校では、子どもたちへの環境教育や省エネ、節水、ごみ分別の指導に力を入れている反面、広域で異動のある教職員の意識・行動の定着には課題があるようです。職員はハンドブック等の再確認を行うとともに、所管部局や事務局からもより丁寧なフォローが必要と考えます。全部署が目標設定時の留意点や取り組み上の課題などの重要情報は都度記録に残すなどして、年度末の繁忙期でも確実に引き継がれるように留意をお願いします。

#### ○監査方法・時間配分の再考

監査対象部署を全体の3分の1にしたことでスケジュール全体には余裕が生まれましたが、やり取りの時間が足りずに消化不良の感が残る時間帯もありました。特に推進委員や事務局とはしっかり議論する時間を確保したいので、監査方法や時間の再考をお願いします。

## 5. 監査チームからの提言

今年度監査対象となった各実行部門における取り組みのうち、全庁的に水平展開することが望ましいと考える取り組みを以下に記します。各部署・施設の状況に応じて可能なものは取り入れたり、適宜アレンジを加えたりして、取り組みのレベルアップを図ってください。

実行部門名	関連する設問	取組内容
監査委員事務局	1 環境配慮行動の工夫	他部署から収集する資料を事前に電子データで確認し、必要なもののみ紙ベースで受け取るようにするとともに、紙資料を可能な限り PDF 化してデータ保存をすることで、ペーパーレス化と保管場所の省スペース化を図っています。
環境課	10 待機電力カット	コンセントが床にあり電源コードの抜き差しが困難なため、机の裾に電源タップを配置しています。面倒に感じないように配線を工夫しています。
わかたけ会館・図書館	10 待機電力カット	抜いても差し支えない電源コードにカラーテープで目印をつけ、さらに照明スイッチのところに「退館時にコンセントを抜く」と表示しています。分かりやすくトラブルを防止するとともに、目につく場所に注意喚起することで忘れられないようにしています。
白梅会館	4 市民参加・協働の促進	敷地内のコンポストで、イベントで発生した生ごみや近隣住民の生ごみを受け入れています。コンポストでできた肥料で野菜を育て、食育の講座で活用しています。調理くずや残菜が生じる施設では、コンポストを設置して地域で活用する方策を検討してはいかがでしょうか。
教育総務課	9 環境配慮行動の工夫	前回の監査報告書で紹介された事例を参考にして、「F-e 担当」を課内の職員が持ち回りで担うことにしました。F-e 担当が照明や電子機器の電源オフ、ごみ分別の状況をチェックして、取り組みの徹底を呼び掛けています。
福生第六小学校	9 環境配慮行動の工夫	プールを使用する順番を工夫し（低い水位で使用する低学年が先）、水位調整のために無駄な水を使わないようにしています。学校のプールは水道使用量の目標の適用外ですが、経費節減のためにも各校で実践されるとよいと思います。

## 6. 監査項目ごとの所見

監査担当班において「特に高く評価したい点」または「改善・修正を検討されたい点」を整理した結果を、監査項目ごとに記述します（特記事項のない項目を除く）。

### ※記載例

2	環境配慮行動の工夫	エネルギー、水、紙、ごみの無駄を省くため、仕事の進め方・動き方自体の効率化や改善を図った実績や姿勢が見られるか
---	-----------	---

↑質問番号    ↑質問内容    ↑監査の視点

### ◆特に高く評価したい点

4	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか。市民活動の発展への意識を持っているか。
---	------------	---

武蔵野台児童館    演劇などにより水の大切さや安全性を教える都水道局出張事業「水道キャラバン」を活用し、児童への教育を実施しています。これが保護者への環境教育としても波及しています。    担当：1班

環境課    数多くの市民団体と幅広く協働事業を行っていますが、それが継続して拡大していることは評価されます。協働事業において市民と行政の役割を認識して、市民の担う部分の拡大も意識されています。    担当：2班

熊川・武蔵野台・田園児童館    地域市民との協働事業だけでなく、事業者の協力を得たり（事業者からの寄付金による卓球台購入や、巻きダンボールの提供など）して幅広い協働事業が行われています。    担当：2班

白梅会館    敷地内にあるコンポスト(70リットル容器4基)を活用して、イベント(軽スポーツ&とん汁会)で排出された生ごみや近隣住民の生ごみを受け入れています。できた肥料は、食育講座の野菜づくりに活用しているとのこと。近隣住民と協働でコンポストを活用しています。    担当：3班

田園児童館    敷地内にある八重桜の落ち葉を堆肥化して、地域の方や子ども達と一緒に野菜を育て、おでんにして食べるというところまで行い、環境学習や食育の面について熱心な取り組みが見られました。    担当：3班

7	環境学習の推進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか。学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか。
---	---------	---

福生第六小学校    ヤマメの孵化に努力し、今回200尾以上育て、放流し子ども達との環境意識の向上に役立ちました。これは教師の熱意によるもので、称賛したいと思います。    担当：3班

9	環境配慮行動の工夫	ハンドブックにない独自の工夫、家庭や地域への積極的な働きかけがあるか。
---	-----------	-------------------------------------

監査委員会事務局 職員熱意と努力による次の創意工夫がなされ感動しました。 担当：3班

- ・監査委員へ配布する資料が多いため、これまでは毎回、紙袋に入れて配布していましたが、紙袋が破れるため職員がエコバックを手作りし、紙袋を使用しないように工夫していました。
- ・執務室内の温度調整が難しいため、監査委員が座る椅子のカバーを職員が作成し、首があたる部分に保冷剤やカイロを入れるポケットをつけて温度調整を行う工夫をしていました。
- ・裏面使用の用紙を加工し、オリジナルの伝言メモを作成していました。
- ・業務や F・e の取り組みについて、しっかり引き継ぐと共に記録がとられていました。

10	環境配慮行動の工夫(省エネ)	待機電力カットについての認識。
----	----------------	-----------------

わかたけ会館・図書館 待機電力対策として、退庁時にコンセントから抜けるコードを色の印で識別し、照明スイッチの所にも確認の表示をし、職員が退庁時にコードを抜くよう徹底されていました。 担当：1班

14	その他	独自の取り組みなどのPR。
----	-----	---------------

田園児童館 田園児童館まつりでリサイクル工作を子ども達に教え、遊びを通して、リサイクル等の環境の大切さを指導していました。 担当：3班

事務局	環境協働の推進	環境に関する情報公開や市民参加、協働を推進するための検討がなされているか。
-----	---------	---------------------------------------

事務局 各部署に協働で事業を進める姿勢が広まりつつあること、協働の相手先が拡大している部署があるとのこと。環境課としてもエコプロ 2016 への出展やふっさ環境市民会議とのパンフレット作製や講座開催など新たな動きがありました。「環境協働報告書」の提出により、市民協働の重要性がより深く認識されるようになった成果として高く評価できます。 担当：全員

◆改善を要望したい点

1	環境配慮行動の工夫	目視確認により適正な実施状況を確認。
---	-----------	--------------------

福生第六小学校 職員室内のごみ分別がされていませんでした。教職員が基本的な取り組みが徹底できるよう、改善をお願いします。 担当：3班

(添付資料) ・監査対象一覧  
・監査員名簿

## H28監査対象部署

NO	実行責任者	組織コード	実行責任者の把握する職員・施設等の範囲
1	監査委員事務局長	12800	監査事務局
2	企画調整課長	10300	企画調整課
3	教育総務課長	13000	教育総務課
4	文化財係長	23400	郷土資料室
5	白梅会館副館長	23800	白梅会館
6	中央図書館長	23900	中央図書館
7	わかたけ図書館分館長	24100	わかたけ会館・図書館
8	総務課長	10700	総務課
9	職員課長	11000	職員課
10	総合窓口課長	11200	総合窓口課
11	社会福祉課長	11900	社会福祉課
12	環境課長	11700	環境課
		11701	川の志民館
		11702	公衆トイレ
		11703	庁舎電気自動車充電器
		11705	くるみるふっさ
13	シティセールス推進課長	11600	シティセールス推進課
14	道路公園課長	12601	詰所
		12602	公園
		12603	道路
		12604	道路公園課
15	福生第二小学校長	64700	福生第二小学校
16	福生第四小学校長	64900	福生第四小学校
17	福生第六小学校長	65100	福生第六小学校
18	熊川児童館長	75700	熊川児童館
		75701	田園児童館・会館
		75702	武蔵野台児童館

※色の付いている部署は、環境マネージャー部署であるため1/12に模擬監査実施

## 平成28年度 福生市環境マネジメントシステム監査委員名簿

市民監査委員任期：平成28年8月1日～平成30年7月31日

	区分	氏名	ふりがな	所属	備考
1	市民	関根 和美	せきね かずみ	市民公募監査委員	
2	市民	宮崎 淳次	みやざき じゅんじ	市民公募監査委員	
3	市民	双木 邦夫	なみき くにお	市民公募監査委員	
4	市民	伊藤 博仁	いとう ひろひと	市民公募監査委員	
5	市民	岩浪 範也	いわなみ のりや	ふっさ花とみどりの会	
6	市民	◎田中 俊朗	たなか としろう	かんきょう通信編集会議	
7	市民	中西 真実	なかにし まみ	かんきょう通信編集会議	
8	市民	○石毛 和夫	いしげ かずお	環境基本計画等改定市民会議	
9	市民	砥綿 潤	とわた じゅん	環境基本計画等改定市民会議	
10	市民	高森 千夜子	たかもり ちやこ	環境基本計画等改定市民会議	
11	市民	山本 忠	やまもと ただし	環境基本計画等改定市民会議	
12	専門家	○小澤 はる奈	おざわ はるな	環境自治体会議	
13	行政	岸野 満	きしの みつる	情報システム課長	固定職
14	行政	○鈴木 啓治	すずき けいじ	総務課長	環境マネージャー 会議 議長
15	行政	中岡 保彦	なかおか やすひこ	契約管財課長	固定職
16	行政	田村 清孝	たむら きよたか	課税課長	
17	行政	森田 雅枝	もりた まさえ	障害福祉課長	環境マネージャー 会議 副議長
18	行政	小川 裕司	おがわ ゆうじ	子ども家庭支援課長	
19	行政	鈴木 彰	すずき あきら	道路公園課長	
20	行政	森田 明	もりた あきら	選挙管理委員会事務局長	
21	行政	久保 淳	くぼ あつし	教育総務課長	固定職
22	行政	岡部 健一	おかべ けんいち	生涯学習推進課長	

◎：代表監査委員、○：副代表監査委員、下線：目標設定チームメンバー